

法人(事業所)理念		「生きる」を楽しく		
支援方針		一人ひとりの可能性を大切に、自立への第一歩を支えます。個別支援や小集団活動、集団活動を通じて、家族と共に成長を育んでいきます。		
営業時間		10時30分～17時	送迎実施の有無	有・無
		支援内容		
本人支援	健康・生活	○登所後、身支度や靴、洋服の着脱など、生活に必要な支援を身につけられるように、言葉掛けや視覚的にわかりやすいもの（カードや表）を使い、スモールステップで支援します。○おやつ時間を利用して、食具の使い方を練習したり、さまざまな食感や味を体験することで食への興味を育みます。また、簡単な調理を子ども自身が行う体験を提供します。○気持ちカードなどを使って、自分の健康状態を把握する力を育てます。○子どもがリラックスして過ごせるよう、安心して生活できる環境を整えます。○健康管理の一環として、家族と連携しながらトイレトレーニングを行います。		
	運動・感覚	○リズム運動やダンス、サーキット、ヨガ、光遊び、音楽や楽器を使った活動などを通して、楽しみながら体のイメージを高めていきます。○トランポリンやトンネル、ハードルなどの教具を使用し、楽しみながら体幹や姿勢の維持に必要な筋力を発達させ、平衡感覚を養います。○制作や土いじり、料理など、楽しみながら指先のトレーニングを行います。○公園遊びや制作活動を通じて、四季を感じ、さまざまな素材の感触や匂い、音などを体験し、五感や想像力を養います。		
	認知・行動	○集団活動（ちゃーもたいむ）や遊びを通して、他者との適切な距離感を学び、過剰な接触を避ける行動を促します。○マッチングゲームやパズルなどを通じて、注意力や記憶力を養います。○絵カードや文字を使ったタイムテーブルを作り、予定に対する見通しを持てるように支援します。○カレンダー制作や公園遊び、季節の行事を通じて、社会性や情緒の発達を促します。○避難訓練や交通安全に関する活動を繰り返し行い、事故や災害から身を守るための安全意識を育みます。○個別支援の時間を設け、子どもの興味やニーズに応じた学習やソーシャルスキルトレーニングを行います。		
	言語・コミュニケーション	○集団活動（ちゃーもたいむ）を通して、友だちとの協力や相互コミュニケーション能力を育てます。○会活動では、前に出て自分の気持ちや今日あったことを発表する時間を設け、言葉や身振り手振りで意思を伝える力を養います。○絵本やペープサート、ごっこ遊びなどを通じて、語彙力や表現力、共感力、聞く力を育みます。○個別支援の時間を設け、子どもの習熟度に応じたプリントや教材を使い、読み書きの向上を促します。		
	人間関係・社会性	○集団活動（ちゃーもたいむ）を通じて、自分の気持ちをコントロールしたり、友だちの表情や感情を理解する力を育てます。○遊びの中で友だちに興味を持ち、ルールの理解や一緒に遊ぶ楽しさを学び、集団への自信を育てます。○支援者との信頼関係を築き、安心感を与えることで、他者との積極的な関わりを学べる環境を提供します。○順番を守る、感情を言葉で表現する、玩具や教具の貸し借りを学び、基本的な社会的スキルを習得します。		
家族支援		○家族と連携し、わかりやすく具体的な個別支援計画を作成します。○発達や育児、兄弟姉妹との関わり方などの悩みや困りごとに対する相談を行います。○園や自宅への送迎支援を行います。○家族参加型のイベントを実施します。○アプリを通じて、子どもの様子を文や写真でお伝えします。	移行支援	○移行先（園や学校）との情報を共有します。○移行時における保護者の考えや気持ちを理解し、支援します。
地域支援・地域連携		○地域の関係機関と連携を強化します。○近くの八百屋さんなどでお買い物体験を行います。	職員の質の向上	○研修を行い、職員の支援スキルを向上させます。○職員自身のメンタルケアにも配慮します。○定期的に会議を開き、子どもの様子や支援方法について話し合います。
主な行事等		ハロウィン、クリスマス会、節分、他事業所も含めた発表会、夏休みイベント、夏祭り、初詣、保護者参観、避難訓練、誕生日会		